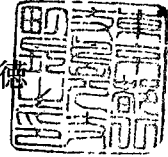




20八建第 189号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

八丈町長 浅沼 道徳



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答致します。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

東京都八丈町

道路特定財源の一般財源化は地方を直撃する。

農林水産業からの若者の撤退・観光産業の衰退など、地方は今、公共事業に頼るしか生き残れない。
真に必要な生活道路の未整備路線は数多くある。

○現状

1. 幹線道路（都道）の整備は進んでいるが、生活道路（町道）の整備が進まず道路としてのネットワークが形成されていない。
2. 道路設計は基本的には道路構造令に基づいて設計しなければならぬ。

1. 生活道路（町道）の整備率は50%以下で早急に整備する必要があるが、補助に対する裏負担が重荷である。
2. 離島の形状では道路構造令（特例措置はあるが）で設計出来るような道路が残っていない。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 地域が目指すべき将来像

様式 ③

東京都八丈町

離島では公共の交通機関が発達しておらず、自家用車が生活移動としての手段であるが、生活道路の整備
がかなり遅れている